

注3

高専番号：06

[平成29年度設置]

計画の区分：学科の設置

注1

事前伺い

一関工業高等専門学校 未来創造工学科

注2

## 【事前伺い】設置に係る設置計画履行状況報告書

独立行政法人 国立高等専門学校機構  
平成29年5月1日現在

### 作成担当者

担当部局（課）名 総務課

職名・氏名 カチヨウホ サ タカハシ セツオ  
課長補佐 高橋 説夫

電話番号 0191-24-4810

（夜間） 0191-24-4700

F A X 0191-24-2146

e-mail s-soumu@ichinoseki.ac.jp

(注) 1 「計画の区分」は設置時の基本計画書「計画の区分」と同様に記載してください。

2 大学院の場合は、表題を「〇〇大学大学院・・・」と記入してください。

設置時から対象学部等の名称変更があった場合には、表題には設置時の旧名称を記載し、その下欄に（ ）書きにて、現在の名称を記載してください。

例) 〇〇大学 △△学部 □□学科

(◇◇学部(平成◇◇年度より学科名称変更))

表題は「計画の区分」に従い、記入してください。

例)

- ・学部の設置の場合：「〇〇大学 △△学部」
- ・学部の学科の設置の場合：「〇〇大学 △△学部 □□学科」
- ・短期大学の学科の設置の場合：「〇〇短期大学 △△学科」
- ・大学院の研究科の設置の場合：「〇〇大学大学院 〇〇研究科」
- ・通信教育課程の開設の場合：「〇〇大学 △△学部 □□学科(通信教育課程)」

3 大学番号の欄については、平成29年3月31日付事務連絡「大学等の設置に係る設置計画履行状況報告書等の提出について(依頼)」の別紙に記載のある大学番号を記載してください。

# 目次

<未来創造工学科>	ページ
1. 調査対象高専の概要等	1
2. 授業科目の概要	5
3. 施設・設備の整備状況、経費	11
4. 既設高専の状況	12
5. 教員組織の状況	13
6. 留意事項等に対する履行状況等	18
7. その他全般的事項	19

# 1 調査対象高専の概要等

## (1) 設置者

独立行政法人 国立高等専門学校機構

## (2) 高専名

一関工業高等専門学校

## (3) 高専の位置

〒021-8511

岩手県一関市萩荘字高梨

- (注) ・対象学部等の位置が高専本部の位置と異なる場合、本部の位置を( )書きで記入してください。  
・対象学部等が複数のキャンパスに所在する場合には、複数のキャンパスの所在地をそれぞれ記載してください。

## (4) 管理運営組織

職名	設置時	変更状況	備考
理事長	(タニグチ イサオ) 谷口 功 (平成28年4月1日)		
校長	(シバタ ヒサシ) 柴田 尚志 (平成24年4月1日)		
学科長	(ナカヤマ アツシ) 中山 淳 (平成29年4月1日)		

- (注) ・「変更状況」は、変更があった場合に記入し、併せて「備考」に変更の理由と変更年月日、報告年度を( )書きで記入してください。

(例) 平成27年度に報告済の内容 → (27)

平成29年度に報告する内容 → (29)

- ・昨年度の報告後から今年度の報告時までに変更があれば、「変更状況」に赤字にて記載（昨年度までに報告された記載があれば、そこに赤字で見え消し修正）するとともに、上記と同様に、「備考」に変更理由等を記入してください。
- ・大学院の場合には、「職名」を「研究科長」等と修正して記入してください。
- ・大学独自の職名を設けていて当該職位がない場合は、各職に相当する職名の方を記載してください。

(5) 調査対象学科等の名称, 定員, 入学者の状況等

- (注) ・ 当該調査対象の学科の学科または研究科の専攻等, 定員を定めている組織ごとに記入してください(入試区分ごとではありません)。  
 ・ なお, 課程認定等によりコースや専攻に入学定員を定めている場合は, 法令上規定されている最小単位(大学であれば「学科」、短期大学であれば「専攻課程」でも記載してください。その場合適宜各項目の表を追加してください。  
 ・ 様式は, 平成26年度開設の4年制の学科の場合(平成29年度までの4年間)ですが, 開設年度・修業年限に合わせて作成してください。(修業年限が3年以下の場合には欄を削除し, 5年以上の場合には, 欄を設けてください。)

(5) - ① 調査対象学科等の名称等

調査対象学科等の名称(学位)	学位又は学科の分野	設置時の計画				備考
		修業年限	入学定員	編入学定員	収容定員	
未来創造工学科 準学士(工学)		5年	160人	年次人	800人	

- (注) ・ 定員を変更した場合は, 「備考」に変更前の人数, 変更年月及び報告年度を( )書きで記入してください。  
 ・ 学生募集停止を予定している場合は, 「備考」にその旨記載してください。  
 ・ 「学位又は学科の分野」には, 「認可申請書」又は「設置届出書」の「教育課程等の概要(別記様式第2号(その2の1))」の「学位又は学科の分野」と同様に記入してください。

(5) - ② 調査対象学科等の入学者の状況

区分	平成25年度		平成26年度		平成27年度		平成28年度		平成29年度		平均入学定員超過率	備考
	春季入学	その他の学期	春季入学	その他の学期	春季入学	その他の学期	春季入学	その他の学期	春季入学	その他の学期		
A 入学定員	人 ( ) [ ]	人 160 ( ) [ ]	人 ( ) [ ]									
志願者数	( ) [ ]	240 ( ) [ ]	( ) [ ]									
受験者数	( ) [ ]	240 ( ) [ ]	( ) [ ]									
合格者数	( ) [ ]	160 ( ) [ ]	( ) [ ]									
B 入学者数	( ) [ ]	160 ( ) [ ]	( ) [ ]									
入学定員超過率 B/A									1			

- (注) ・ 数字は, 平成29年5月1日現在の数字を記入してください。  
 ・ ( ) 内には, 編入学の状況について**外数**で記入してください。なお, 編入学を複数年次で行っている場合には, (( ))書きとするなどし, その旨を「備考」に付記してください。該当がない年には「-」を記入してください。  
 ・ [ ] 内には, 留学生の状況について**内数**で記入してください。該当がない年には「-」を記入してください。  
 ・ 留学生については, 「出入国管理及び難民認定法」別表第一に定められる「『留学』の在留資格(いわゆる「留学ビザ」)により, 我が国の大学(大学院を含む。), 短期大学, 高等専門学校, 専修学校(専門課程)及び我が国の大学に入学するための準備教育課程を設置する教育施設において教育を受ける外国人学生」を記載してください。  
 ・ 短期交換留学生など, 定員内に含めていない学生については記入しないでください。  
 ・ 学期の区分に従い学生を入学させる場合は, 春季入学とその他の学期(春季入学以外の学期区分を設けている場合)に分けて数値を記入してください。春季入学のみの実施の場合は, その他の学期欄は「-」を記入してください。また, その他の学期に入学定員を設けている場合は, 備考欄にその人数を記入してください。  
 ・ 「入学定員超過率」については, **各年度の春季入学とその他を合計した入学定員, 入学者数で算出**してください。なお, 計算の際は小数点以下第3位を切り捨て, 小数点以下第2位まで記入してください。  
 ・ 「平均入学定員超過率」には, 開設年度から提出年度までの入学定員超過率の平均を記入してください。なお, 計算の際は「入学定員超過率」と同様にしてください。

(5) - ③ 調査対象学科等の在学者の状況

学年	平成26年度		平成27年度		平成28年度		平成29年度		備考
	春季入学	その他の学期	春季入学	その他の学期	春季入学	その他の学期	春季入学	その他の学期	
1年次	- [ - ] ( - )	160 [ - ]	- [ - ]						
2年次	/		- [ - ] ( - )						
3年次			/		- [ - ] ( - )	- [ - ] ( - )			
4年次	/				- [ - ] ( - )	- [ - ] ( - )			
5年次			/		- [ - ] ( - )	- [ - ] ( - )			
計	- [ - ] ( - )	- [ - ] ( - )			- [ - ] ( - )	- [ - ] ( - )	- [ - ] ( - )	160 [ - ] ( - )	

- (注) ・ 数字は、平成29年5月1日現在の数字を記入してください。
- ・ [ ]内には、留学生の状況について**内数**で記入してください。該当がない年には「-」を記入してください。
  - ・ 留学生については、「出入国管理及び難民認定法」別表第一に定められる「『留学』の在留資格（いわゆる「留学ビザ」）により、我が国の大学（大学院を含む。）、短期大学、高等専門学校、専修学校（専門課程）及び我が国の大学に入学するための準備教育課程を設置する教育施設において教育を受ける外国人学生」を記載してください。
  - ・ 短期交換留学生など、定員内に含めていない学生については記入しないでください。
  - ・ 学期の区分に従い学生を入学させる場合は、春季入学とその他の学期（春季入学以外の学期区分を設けている場合）に分けて数値を記入してください。春季入学の実施の場合は、その他の学期欄は「-」を記入してください。また、その他の学期に入学定員を設けている場合は、備考欄にその人数を記入してください。
  - ・ 「計」については、**各年度の春季入学とその他の学期を合計した在学者数、留学生数**を記入してください。
  - ・ ( )内には、留年者の状況について、内数で記入してください。該当がない年には「-」を記入してください。

(5) -④ 調査対象学科等の退学者等の状況

区分 対象年度	入学者数(b)	退学者数(a)	退学者数(内訳)			主な退学理由	入学者数に 対する退学者数 の割合 (a/b)
			退学した年度	退学者数	退学者数の うち留学生数		
平成26年度 入学者	— 人	— 人	平成26年度	人	人		%
			平成27年度	人	人		
			平成28年度	人	人		
			平成29年度	人	人		
平成27年度 入学者	— 人	— 人	平成27年度	人	人		%
			平成28年度	人	人		
			平成29年度	人	人		
平成28年度 入学者	— 人	— 人	平成28年度	人	人		%
			平成29年度	人	人		
平成29年度 入学者	160 人	0 人	平成29年度	0 人	0 人		0.00 %
合 計	160 人	0 人					0.00 %

(注)・数字は、平成29年5月1日現在の数字を記入してください。

- ・各年度の入学者数については、該当年度当初に入学した人数を記入してください。(途中で退学者がいた場合でも、その退学者数を減らす必要はありません。)
- ・各年度の退学者数については、退学年度ごとに記入してください。また、留学生数欄の人数については、退学者数の内数を記入してください。
- ・留学生については、「出入国管理及び難民認定法」別表第一に定められる「『留学』の在留資格（いわゆる「留学ビザ」）により、我が国の大学（大学院を含む。）、短期大学、高等専門学校、専修学校（専門課程）及び我が国の大学に入学するための準備教育課程を設置する教育施設において教育を受ける外国人学生」を記入してください。
- ・短期交換留学生など、定員内に含めていない学生については記入しないでください。
- ・「入学者数に対する退学者数の割合」は、【当該対象年度の入学者のうち、平成29年5月1日現在までに退学した学生数の合計】を、【当該対象年度の入学者数】で除した割合(%)を記入してください。その際、小数点以下第3位を切り捨て、小数点以下第2位までを記入してください。
- ・「主な退学理由」は、下の項目を参考に記入してください。その際、「就学意欲の低下(○人)」というように、その人数も含めて記入してください。  
 (記入項目例)・就学意欲の低下 ・学力不足 ・他の教育機関への入学・転学 ・海外留学  
 ・就職 ・学生個人の心身に関する事情 ・家庭の事情 ・除籍 ・その他

## 2 授業科目の概要

### <未来創造工学科>

#### (1) 授業科目表

科目区分	授業科目の名称	配当年次	単位数			専任教員等の配置				備考	
			必修	選択	自由	教授	准教授	講師	助教		助手
一般科目	国語 I	1 通	2			1					
	国語 II A	2 前	2			1					
	国語 II B	2 後	1			1					
	国語 III	3 通	2			1					
	日本語表現法	4 前	1			1					
	文学	4 後	1			1					
	地理	1 後	1				1				
	歴史	1 通	2			1					
	倫理	2 通	2					1			
	政治・経済	3 前	2					1			
	基礎数学 I A	1 前	2					1		1	
	基礎数学 I B	1 後	2					1		1	
	基礎数学 II	1 通	2			2					
	微分積分 I A	2 前	2			2					
	微分積分 I B	2 後	2			2					
	微分積分 II	3 通	2					1		1	
	線形代数 I	2 通	2								
	線形代数 II	3 前	1								
	解析学 I	3 通	2								
	解析学 II	3 後	1			1	1			1	
	基礎物理	1 後	1				1				
	物理 I A	2 前	2					1			
	物理 I B	2 後	1					1			
	化学 I	1 通	2					2		2	
	化学 II	2 通	2			1	2			2	
	生物・地学	1 前	1								
	保健体育 I	1 通	2			1					
	保健体育 II	2 通	2							1	
	保健体育 III	3 通	2							1	
	体育	4 通	2				1				
	総合英語 I A	1 前	2			1	1				
	総合英語 I B	1 後	2			1	1				
	総合英語 II A	2 前	1						1		
	総合英語 II B	2 後	2						1		
	英会話	2前/2後	1								
	総合英語 III A	3前/3後	1			1	1				
	総合英語 III B	3前/3後	1			1	1				
	英語表現 I	2前/2後	2								
	英語演習 I	4 前	2				1				
	英語演習 II	5 後	2				1				
	第二外国語 I	4 後	2								
小計 (41 科目)		—	69	0	0						兼1 担当教員の記載漏れ(29)
選択必修科目	音楽	2 通	2								
	美術	2 通	2								
	哲学	5 通	2					1			
	法学	5 通	2								
	経済学	5 通	2					1			
	歴史学	5 通	2				1				
	物理 II A	3 通	2					1			
	物理 II B	3 通	2					1			
小計 (8 科目)		—	16	0	0						兼1 集計ミスのための変更(29)
選択科目	人文社会科学 I	4 通	2			1	1	1			
	人文社会科学 II	5 前	2			3	1	1			
	英語表現 II	3 後	2								
	第二外国語 II	5 前	1								
	課題研究 I	1~5	1								
	課題研究 II	1~5	1~4								
小計 (6科目)		—	0	12	0						
一般科目 合計 (55科目)			—	85	12	0	9	5	2	2	
一般科目	情報リテラシー	1 通	2			1	1		1		兼1 担当教員の見直しによる変更(29)
	ものづくり実験実習M	1 前	1			1	1				兼1 担当教員の見直しによる変更(29)
	ものづくり実験実習E	1 前	1			1	3				兼1 担当教員の見直しによる変更(29)
	ものづくり実験実習 J	1 後	1			1	1		1		兼1 担当教員の見直しによる変更(29)
	ものづくり実験実習C	1 後	1			3	3		2		兼1 担当教員の見直しによる変更(29)
	基礎製図	1 前	1				1		1		兼1 担当教員の見直しによる変更(29)
	系導入セミナー	1 通	2			3	3		1		兼1 担当教員の見直しによる変更(29)
	未来創造セミナー	3 前	1			5	8		1		
	分野展開セミナー	3 後	1			5	8		1		
	実践技術I	4 前		1		2	2				
	地域創造学	4 後		1			2				
実践技術II	5 前		1			1					
工業英語	5 後		2							兼1	





	分野専門セミナー	4	後	1			4	5	1		
	卒業研究	5	通	10			4	5	1		
	小計 (2科目)	-		11	0	0					
化学・バイオ系専門科目	情報リテラシー	1	通	2			1	1	1		担当教員の見直しによる変更(29)
	ものづくり実験実習M	1	後	1			1	1	4		担当教員の見直しによる変更(29)
	ものづくり実験実習E	1	後	1			1	3	4		兼1 担当教員の見直しによる変更(29)
	ものづくり実験実習J	1	前	1			1	4	1		担当教員の見直しによる変更(29)
	ものづくり実験実習C	1	前	1			3	3	4	2	担当教員の見直しによる変更(29)
	基礎製図	1	前	1				4	1		兼1 担当教員の見直しによる変更(29)
	系導入セミナー	1	通	2			3	3	4		担当教員の見直しによる変更(29)
	未来創造セミナー	3	前	1			5	8	1		
	分野展開セミナー	3	後	1			5	8	1		
	実践技術I	4	前		1		2	2			
	地域創造学	4	後		1			2			
	実践技術II	5	前		1			1			
	工業英語	5	後		2						兼1
	応用物理 I	3	前	2				1			
	応用物理II	4	前	2				1			
	分析・無機化学実験	2	通	4				2	2	2	
	分析化学	2	前	1				1			
	無機化学I	2	後	1				1			
	有機化学実験	3	前	2				2			
	物理化学実験	3	後	2			1	1			
	基礎生物工学	3	通	2				1	1		
	有機化学 I	3	前	2				1			
	基礎化学工学 I	3	前	1			1			1	
	有機化学 II	3	後	1				1			
	物理化学 I	3	後	1				1			
	単位操作	3	後	1			1				
	化学工学・バイオ実験 I	4	通	4				1	3		
	無機化学 II	4	前		2				1		
	物理化学 II	4	前	2				1			
	反応工学	4	前	2				2		1	
	物理化学III	4	後	2				1			
	応用数学	4	後	2					1		
	機器分析	4	前		1				1		
	有機化学III	4	前		1				1		
	情報処理	4	後		1		1				
	基礎化学工学 II	4	後		1				1		1
	生物反応工学	4	後		1		1				
	化学工学・バイオ実験 II	5	前	2			3	2		1	
	物理化学IV	5	前	2			1				
	確率統計	5	前	2			1	1			
	化学プラント設計 I	5	前		2			1			
	環境工学	5	後		2		1	1			
	機械・電気工学概論	5	後		2					1	
	化学プラント設計 II	5	後		2		1				兼1
	計測制御工学	5	後		2			1			
	無機材料化学	5	前		1				1		
	高分子化学	5	後		1				1		
小計 ( 47 48 科目)	-			43	32	0					集計ミスのための変更(29)
分野展開科目	環境・エネルギー工学概論 I	4	前		2		2	2			
	環境・エネルギー工学概論 II	4	後		2		2	2			
	環境・エネルギー特論	5	前		2		2	2			
	先端機能性材料工学	4	前		2			1			
	マテリアル特性評価工学	4	後		2			1			
	先端複合加工工学	5	前		2			1			
	化学プロセス工学 I	4	前		2			1			
	化学プロセス工学 II	4	後		2			1		1	
	化学プロセス工学 III	5	前		2			1			
	生化学 I	4	前		2		1	1			
	生化学 II	4	後		2		1	1			
	微生物工学	5	前		2			1			
小計 (12科目)	-			0	24	0					
分野専門セミナー	4	後	1			5	7		1		
卒業研究	5	通	10			5	7		1		
小計 (2科目)	-			11	0	0					
系共通	校外実習 I	4,5			1						
	校外実習 II	4,5			1						
	校外実習 III	4,5			1						
	課題研究 I	1-5			1-5						
	課題研究 II	1-5			1-4						
小計 (5科目)	-			0	0	0					
専門科目合計 (247 245科目)				204	224	0	16	24	2	2	集計ミスのための変更(29)

(注) ・ 認可申請書の様式第2号(その2の1)に準じて作成してください。  
 なお、昨年度の報告書において赤字で見え消した部分については、見え消しのまま黒字にしてください。

- ・ 授業科目を追加又は内容を変更する場合で、専任教員が担当するため教員審査が必要なものについては、「専任教員採用等設置計画変更書」の審査予定年月等を「備考」に記入してください。(今後審査を受ける場合には、「平成〇年〇月 提出予定」と記入してください。)
- ・ 「配当年次」について、設置認可申請時に開講時期を記入する必要がなかった学科等(平成19年度認可以前)についても、設置認可時の状況を黒字で記入してください。また、前年度報告時より修正があれば、赤字で見え消し修正をしてください。
- ・ 履修希望者がいなかったために未開講となった科目についても記入してください。

(2) 授業科目数

設置時の計画				変更状況				備考
必修	選択	自由	計(A)	必修	選択	自由	計	
科目 163	科目 139	科目 0	科目 300	科目 163 [ 0]	科目 139 [ 0]	科目 0 [ 0]	科目 302 [ 2]	集計ミスによる合計科目数の修正

(注) ・ 未開講科目も含めた教育課程上の授業科目数を記入するとともに、[ ] 内に、設置時の計画からの増減を記入してください。(記入例：1科目減の場合：△1)

(3) 未開講科目 「該当なし」

番号	授業科目名	単位数	配当年次	一般・専門	必修・選択	未開講の理由, 代替措置の有無
1						
2						
3						

- (注) ・ 設置時の計画にあった授業科目が配当年次に達しているにも関わらず、何らかの理由で未開講となっている授業科目について記入してください。なお、理由については可能な限り具体的に記入してください。  
 ・ 履修希望者がいなかったために未開講となった科目については、記入しないでください。  
 ・ 教職大学院の場合は、「一般・専門」を「共通・実習・その他」と修正して記入してください。

(4) 廃止科目 「該当なし」

番号	授業科目名	単位数	配当年次	一般・専門	必修・選択	廃止の理由, 代替措置の有無
1						
2						
3						

- (注) ・ 設置時の計画にあり、何らかの理由で廃止（教育課程から削除）した授業科目について記入してください。なお、理由については可能な限り具体的に記入してください。  
 ・ 教職大学院の場合は、「一般・専門」を「共通・実習・その他」と修正して記入してください。

(5) 授業科目を未開講又は廃止としたことに係る「高専の所見」及び「学生への周知方法」

「該当なし」

- (注) ・ 授業科目を未開講又は廃止としたことによる学生の履修への影響に関する「大学の所見」及び「学生への周知方法」を記入してください。

(6) 「設置時の計画の授業科目数の計」に対する「未開講科目と廃止科目の計」の割合  
 「該当なし」

$$\frac{\text{未開講科目 (3) と廃止科目 (4) の計}}{\text{設置時の計画の授業科目数の計 (A)}} = \frac{0}{302} = \boxed{\phantom{00}} 0\%$$

- (注) ・ 小数点以下第3位を切り捨て、小数点以下第2位までを記入してください。  
 ・ 「未開講科目と廃止科目の計」が、「(3) 未開講科目」と「(4) 廃止科目」の合計数となるように留意してください。

### 3 施設・設備の整備状況、経費

区 分		内 容				備 考	
(1) 校 地 等	区 分	専 用	共 用	共用する他の 学校等の専用	計		
	校舎敷地	38,725㎡	㎡	㎡	38,725㎡		
	運動場用地	41,831㎡	㎡	㎡	41,831㎡		
	小 計	80,556㎡	㎡	㎡	80,556㎡		
	そ の 他	11,709㎡	㎡	㎡	11,709㎡		
	合 計	92,265㎡	㎡	㎡	92,265㎡		
(2) 校 舎		専 用	共 用	共用する他の 学校等の専用	計		
		30,261㎡ ( 30,261㎡)	㎡ ( ㎡)	㎡ ( ㎡)	30,261㎡ ( 30,261㎡)		
(3) 教 室 等		講 義 室	演 習 室	実験実習室	情報処理学習施設	語学学習施設	
		24 室	8 室	53 室	2 室 (補助職員 0人)	2 室 (補助職員 0人)	
(4) 専任教員研究室		新設学部等の名称			室 数		
		未来創造工学科			61 室		
(5) 図 書 ・ 設 備	新設学部等の 名称	図 書 〔うち外国書〕 冊	学術雑誌 〔うち外国書〕 種	電子ジャーナル 〔うち外国書〕	視聴覚資料 点	機械・器具 点	標 本 点
	未来創造工学科	74,879 [6,519] (74,879 [6,519])	812 [ 26 ] ( 812 [ 26 ])	7 [ 3 ] ( 7 [ 3 ])	955 ( 955)	2 ( 2 )	0 ( 0 )
	計	74,879 [6,519] (74,879 [6,519])	812 [ 26 ] ( 812 [ 26 ])	7 [ 3 ] ( 7 [ 3 ])	955 ( 955)	2 ( 2 )	0 ( 0 )
(6) 図 書 館		面 積		閲 覧 座 席 数	収 納 可 能 冊 数		
		695㎡		66席	80,000冊		
(7) 体 育 館		面 積		体育館以外のスポーツ施設の概要			
		2,033㎡		武道館	プール		
		学校全体					
(8) 経費の見積り及び維持方法の概要	区 分	開設年度	完成年度	区 分	開設前年度	開設年度	完成年度
	教員1人当り研究費等	千円	千円	図書購入費	千円	千円	千円
	共同研究費等	千円	千円	設備購入費	千円	千円	千円
	学生1人当り 納付金	第1年次 千円	第2年次 千円	第3年次 千円	第4年次 千円	第5年次 千円	第6年次 千円
	学生納付金以外の維持方法の概要						

- (注) ・ 設置時の計画を、申請書の様式第2号(その1の1)に準じて作成してください。(複数のキャンパスに分かれている場合、複数の様式に分ける必要はありません。なお、「(1)校地等」及び「(2)校舎」は大学全体の数字を、その他の項目はAC対象学部等の数値を記入してください。)
- ・ 運動場用地が校舎敷地と別地にある場合は、その旨(所要時間・距離等)を「備考」に記入してください。
  - ・ 「(5)図書・設備」については、上段に完成年度の予定数値を、下段には平成29年5月1日現在の数値を記入してください。
  - ・ 昨年度の報告後から今年度の報告時までに変更のあったものについては、変更部分を赤字で見え消し修正するとともに、その理由及び報告年度「(29)」を「備考」に赤字で記入してください。  
 なお、昨年度の報告において赤字で見え消した部分については、見え消しのまま黒字にしてください。
  - ・ 校舎等建物の計画の変更(校舎又は体育館の総面積の減少、建築計画の遅延)がある場合には、「建築等設置計画変更書」を併せて提出してください。
  - ・ 国立大学については「(8)経費の見積り及び維持方法の概要」は記載不要です。

#### 4 既設高専の状況

高専の名称	一関工業高等専門学校								備考	
既設学科等の名称	修業年限	入学定員	編入学定員	収容定員	学位又は称号	平均入学定員超過率	開年度	設年度	所在地	
未来創造工学科	5年	160人	4年次若干名	800人	準学士(工学)	1.00倍	平成29年度		岩手県一関市萩荘字高梨	
機械工学科	5	—	4年次若干名	—	準学士(工学)	—	昭和39年度		同上	平成29年度より学生募集停止
電気情報工学科	5	—	4年次若干名	—	準学士(工学)	—	平成15年度		同上	同上
制御情報工学科	5	—	4年次若干名	—	準学士(工学)	—	平成元年度		同上	同上
物質化学工学科	5	—	4年次若干名	—	準学士(工学)	—	平成7年度		同上	同上

- (注) ・本調査の対象となっている大学等の設置者(学校法人等)が設置している全ての大学(学科, 学科), 大学院(専攻)及び短期大学(学科)(AC対象学科等含む)について, それぞれの学校種ごとに, 平成29年5月1日現在の上記項目の情報を記入してください。
- ・学科または研究科の専攻等, 「入学定員を定めている組織」ごとに記入してください。
  - ※「入学定員を定めている組織ごと」には, 課程認定等によりコース・専攻に入学定員を定めている場合を含めます。履修上の区分としてコース・専攻を設けている場合は含めません。
  - ※なお, 課程認定等によりコースや専攻に入学定員を定めている場合は, 法令上規定されている組織上の最小単位(大学であれば「学科」, 短期大学であれば「専攻課程」)でも記載してください。
  - ・専攻科に係るものについては, 記入する必要はありません。
  - ・AC対象学科等についても必ず記入してください。
  - ・「平均入学定員超過率」には, 標準修業年限に相当する期間における入学定員に対する入学者の割合の平均の小数点以下第2位まで(小数点以下第3位を切り捨て)を記入してください。
  - ・学生募集を停止している学科等がある場合, 入学定員・収容定員・平均入学定員超過率は「—」とし, 「備考」に「平成〇〇年より学生募集停止」と記入してください。

## 5 教員組織の状況

<未来創造工学科>

(1) 担当教員表

設置時の計画					変更状況					備考	
専任・兼任・兼任の別	職名	氏名(年齢)	就任予定年月	担当授業科目名	専任・兼任・兼任の別	職名	氏名(年齢)	就任予定年月	担当授業科目名		
専	教授	津田 大樹 (50)	平成29年4月	国語 I							
		松浦 千春 (54)	平成29年4月	歴史							
		高橋 知邦 (54)	平成29年4月	基礎数学 II							
		松尾 幸二 (60)	平成29年4月	基礎数学 II							
		白井 仁人 (52)	平成29年4月	基礎物理							
		菅野 俊郎 (64)	平成29年4月	保健体育 I							
		千葉 圭 (56)	平成29年4月	総合英語 I A 総合英語 I B							
		千田 栄幸 (47)	平成29年4月	情報リテラシー 系導入セミナー							
		土屋 高志 (53)	平成29年4月	ものづくり実験実習							
		豊田 計時 (60)	平成29年4月	ものづくり実験実習							
		小保方幸次 (48)	平成29年4月	ものづくり実験実習 系導入セミナー							
		大嶋江利子 (49)	平成29年4月	ものづくり実験実習							
		二階堂 満 (57)	平成29年4月	ものづくり実験実習							
		戸谷 一英 (58)	平成29年4月	ものづくり実験実習							
若嶋振一郎 (43)	平成29年4月	系導入セミナー									
専	准教授	平林 一隆 (53)	平成29年4月	地理							
		片方 江 (38)	平成29年4月	基礎数学 I A 基礎数学 I B							
		滝渡 幸治 (38)	平成29年4月	化学 I ものづくり実験実習							
		中川 裕子 (43)	平成29年4月	化学 I ものづくり実験実習							
		二本柳讓治 (52)	平成29年4月	総合英語 I A 総合英語 I B							
		佐藤 陽悦 (43)	平成29年4月	情報リテラシー							
		村上 明 (42)	平成29年4月	ものづくり実験実習							
		藤田 実樹 (41)	平成29年4月	ものづくり実験実習 系導入セミナー							
		谷林 慧 (46)	平成29年4月	ものづくり実験実習							
		管 隆寿 (47)	平成29年4月	ものづくり実験実習							
		照井 教文 (46)	平成29年4月	ものづくり実験実習 系導入セミナー							
		秋田 敏宏 (41)	平成29年4月	系導入セミナー							
専 兼任	講師	井上 翔 (34)	平成29年4月	基礎製図							
		堀江佐知子 (42)	平成29年4月	生物 地理							
		三浦 文雄 (69)	平成29年4月	ものづくり実験実習							
		清水 久記 (67)	平成29年4月	基礎製図							

		矢野 禎子 (30)	平成29年4月	課題研究 I (フランス語)					
専 助教		佐藤 一樹 (30)	平成29年4月	基礎数学 I A 基礎数学 I B					
		木村 寛恵 (41)	平成29年4月	化学 I ものづくり実 験実習					
		小松田沙也加 (30)	平成29年4月	化学 I ものづくり実 験実習					
		佐藤 智治 (30)	平成29年4月	情報リテラ シー ものづくり実 験実習					

- (注)
- ・ 申請書の様式第3号(その2の1)に準じて作成してください。
  - ・ 後任が決まっていない場合には、「後任未定」と記入してください。
  - ・ 辞任者は「備考」に退職年月、氏名、理由を記入してください。
  - ・ 年齢は、「設置時の計画」には当該学科等の就任時における満年齢を、「変更状況」には平成29年5月1日現在の満年齢を記入してください。
  - ・ 教員を学年進行中に変更した又は変更する予定の場合(「新規採用」,「担当授業科目の変更」又は「昇格」をいう。)は、変更後の状況を記入するとともに、その理由、後任者が決まっていない場合は、「変更状況」の「氏名」に「後任未定」と記入し、及び今後の採用計画を「備考」に記入してください。
  - ・ **認可で設置された学部等の専任教員を変更する場合は**, 当該専任教員が授業を開始する前に必ず「専任教員採用等設置計画変更書」を提出し、大学設置・学校法人審議会による教員資格審査(AC教員審査)を受けてください。**AC教員審査を受けずに専任教員として授業等を担当することは出来ません。**
  - ・ 「専任教員採用等変更書(AC)」を提出し「可」の教員判定を受けている場合は「〇年〇月教員審査済」, 変更書を提出予定の場合は「〇年〇月変更書提出予定」と記入してください。  
 なお、設置認可審査時に教員審査省略となっている場合は、「備考」に「(教員審査省略)」及びその変更の理由、変更年度( )書き等のみを記入してください。

(2) 専任教員数等

(2) - ① 設置基準上の必要専任教員数

完成年度時における設置基準上の必要専任教員数	うち、完成年度時における設置基準上の必要教授数
47 名	

(注) ・ 大学設置基準第十三条別表第一、短期大学設置基準第二十二條別表第一イにより算出される専任教員数を記入してください。

(2) - ② 専任教員数

設置時の計画					現在（報告書提出時）の状況					現在（報告書提出時）の完成年度時の計画				
教授	准教授	講師	助教	計	教授	准教授	講師	助教	計(A)	教授	准教授	講師	助教	計(B)
30	29	0	5	64	25	27	3	6	61	30	29	0	5	64
(25)	(27)	(3)	(6)	(61)						[ 0 ]	[ 0 ]	[ 0 ]	[ 0 ]	[ 0 ]

(注) ・ 「設置時の計画」には、設置時に予定されていた完成年度時の人数を記入するとともに、( ) 内に開設時の状況を記入してください。  
 ・ 「現在（報告書提出時）の状況」には、報告書提出年度の5月1日の教員数（実人数）を記入してください。  
 ・ 「現在（報告書提出時）の完成年度時の計画」には、報告書提出年度の5月1日現在、完成年度時に計画している教員数を記入するとともに、[ ] 内に設置時の計画との増減数を記入してください。（記入例：1名減の場合：△1）

(2) - ③ 年齢構成

年齢構成		
定年規定の定める定年年齢（歳）	報告書提出時（上記(A)）の教員のうち、定年を延長して採用している教員数	完成年度時（上記(B)）の教員うち、定年を延長して採用する教員数
63 歳	0 名	0 名

(注) ・ 「年齢構成」には、当該学科における教員の定年に関する規定に基づく定年年齢（特例等による定年年齢ではありません）、および、平成29年5月1日現在、定年に関する規定に基づく特例等により定年を超えて専任教員として採用されている教員数および完成年度時に定年を超えて専任教員として採用する教員数を記入してください。  
 ・ なお、職位等によって定年年齢が異なる場合には、職位ごとの定年年齢を「定年規定の定める定年年齢」に二段書きで記入し、「定年を延長している教員数」には合算した数を記入してください。

(3) 専任教員辞任等の理由 「該当なし」

(3) - ① 専任教員の就任辞退（未就任）の理由及び後任補充状況

番号	職位	専任教員氏名	必修・選択・自由の別	担当予定科目	後任補充状況	就任辞退（未就任）の理由			
合計 (A)					後任補充状況の集計 (B)				
就任を辞退した教員数		担当科目数の合計 (a) + (b) + (c)		①の合計数 (a)		②の合計数 (b)		③の合計数 (c)	
人	必修	科目	必修	科目	必修	科目	必修	科目	
	選択	科目	選択	科目	選択	科目	選択	科目	
	自由	科目	自由	科目	自由	科目	自由	科目	
	計	科目	計	科目	計	科目	計	科目	

- (注) ・ 認可時又は届出時以降、就任を辞退した全ての専任教員の就任辞退の理由を具体的に記入してください。
- ・ 「就任辞退（未就任）」とは、認可又は届出時に就任予定としながら、実際には就任しなかった教員のことです。就任した後に辞任した教員は、以下「(3) - ②専任教員辞任の理由及び後任補充状況」に記入してください。
  - ・ 昨年度の報告後から今年度の報告時まで専任教員が新たに就任を辞退した場合、赤字にて記入するとともに、「就任辞退（未就任）の理由」に就任辞退の理由等および（ ）書きで報告年度を記入してください。
  - ・ また、担当予定であった科目の後任補充の状況について、各科目ごとに状況を以下「①」～「③」から選択し、「後任補充理由」の欄にその数字を記載してください。

- ・ 専任教員が担当する（している）場合は「①」
- ・ 兼任兼担教員が担当する（している）場合は「②」
- ・ 後任未定、科目廃止など、上記「①」「②」以外の場合は「③」

(3) - ② 専任教員辞任の理由及び後任補充状況

番号	職位	専任教員氏名	必修・選択・自由の別	担当予定科目	後任補充状況	辞任等の理由			
合計 (C)					後任補充状況の集計 (D)				
辞任した教員数		担当科目数の合計 (a) + (b) + (c)		①の合計数 (a)		②の合計数 (b)		③の合計数 (c)	
人	必修	科目	必修	科目	必修	科目	必修	科目	
	選択	科目	選択	科目	選択	科目	選択	科目	
	自由	科目	自由	科目	自由	科目	自由	科目	
	計	科目	計	科目	計	科目	計	科目	

- (注) ・ 一度就任した後に、辞任した全ての専任教員の辞任の理由を具体的に記入してください。
- ・ 昨年度の報告後から今年度の報告時まで専任教員が新たに辞任等した場合、赤字にて記入するとともに、「辞任等の理由」に辞任理由等および（ ）書きで報告年度を記入してください。
  - ・ また、担当予定であった科目の後任補充の状況について、各科目ごとに状況を以下「①」～「③」から選択し、「後任補充理由」の欄にその数字を記載してください。

- ・ 専任教員が担当する（している）場合は「①」
- ・ 兼任兼担教員が担当する（している）場合は「②」
- ・ 後任未定、科目廃止など、上記「①」「②」以外の場合は「③」

上記 (3) - ① ・ (3) - ② の合計

合計 (A) + (C)				後任補充状況の集計 (B) + (D)					
辞任等した教員数		担当科目数の合計 (a) + (b) + (c)		①の合計数 (a)		②の合計数 (b)		③の合計数 (c)	
人	必修	科目	必修	科目	必修	科目	必修	科目	
	選択	科目	選択	科目	選択	科目	選択	科目	
	自由	科目	自由	科目	自由	科目	自由	科目	
	計	科目	計	科目	計	科目	計	科目	

- (注) ・ 就任辞退（未就任）及び辞任した全専任教員について、教員数、担当科目数の合計、後任補充の状況を記入ください。

(4) 専任教員交代に係る「大学の所見」及び「学生への周知方法」

「該当なし」

(注) ・ 上記(3)の専任教員辞任等による学生の履修等への影響に関する「大学の所見」及び「学生への周知方法」を記入してください。

6 留意事項等に対する履行状況等 「該当なし」

区 分	留 意 事 項 等	履 行 状 況	未履行事項について の実施計画
設 置 時 (〇〇年〇〇月)			
設置計画履行状況 調 査 時 (△△年2月)			
設置計画履行状況 調 査 時 (□□年2月)			
設置計画履行状況 調 査 時 (●●年2月)			

- (注) ・ 「設置時」には、当該大学等の設置時（認可時又は届出時）に付された留意事項（学校法人の寄附行為又は寄附行為変更の認可の申請に係る留意事項を除く。）と、それに対する履行状況等について、具体的に記入し、報告年度を（ ）書きで付記してください。
- ・ 「設置計画履行状況調査時」には、当該設置計画履行状況調査の結果、付された意見に対する履行状況等について、具体的に記入するとともに、その履行状況等を裏付ける資料があれば、添付してください。
  - ・ 同一設置者が設置する既設学部等に付された意見は、当該大学から提出される全ての報告書に記入してください。
  - ・ 該当がない場合には、「該当なし」と記入してください。
  - ・ 「設置計画履行状況調査時」の（年月）には、調査結果を公表した月（通常2月）を記入してください。（実地調査や面接調査を実施した日ではありません。）

## 7 その他全般的事項

### <未来創造工学科>

#### (1) 設置計画変更事項等 「該当なし」

設置時の計画	変更内容・状況、今後の見通しなど

- (注) ・ 1～6の項目に記入した事項以外で、設置時の計画より変更のあったもの（未実施を含む。）及び法令適合性に関して生じた留意すべき事項について記入してください。
- ・ 設置時の「設置の趣旨等を記載した書類」の項目に沿って作成し、それ以外の事柄については適宜項目を設けてください。（記入例参照）

#### (2) 教員の資質の維持向上の方策（FD活動含む）

<p>① 実施体制</p> <p>a 委員会の設置状況</p> <p>教員の資質の維持向上にかかる取り組みは、全般にわたる内容は運営委員会が担当し、授業に関する内容は教務委員会が担当している。</p> <p>b 委員会の開催状況（教員の参加状況含む）</p> <p>運営委員会は月1回、教務委員会は月2回程度開催している。</p> <p>c 委員会の審議事項等</p> <p>運営委員会では、年3回実施するFD研修会について審議している。教務委員会では、授業方法に関する研修会、教員相互の授業参観、学生による授業評価アンケートについて審議している。</p> <p>② 実施状況</p> <p>a 実施内容</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・ 特別な支援が必要な学生への配慮に関する講演会（2回）</li> <li>・ 教育課程・授業方法について研究会</li> <li>・ 教員相互の授業参観</li> <li>・ 新任教員のための研修会</li> </ul> <p>b 実施方法</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・ 特別な支援が必要な学生への配慮に関する講演会（大講義室における講義方式）</li> <li>・ 教育課程・授業方法について研究会（大講義室における講義方式）</li> <li>・ 教員相互の授業参観（数週間の期間内に自由に参観する）</li> <li>・ 新任教員のための研修会（校長、教務・学生・寮務主事による講義）</li> </ul> <p>c 開催状況（教員の参加状況含む）</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・ 特別な支援が必要な学生への配慮に関する講演会①・・・全教職員参加 平成28年8月4日（木）13：00～15：00 題目：学生支援のあり方と「合理的配慮」 「学生支援のあり方について」保健管理センター長 「本校における学生支援の課題について」グループワーク</li> </ul>
--

- ・ 特別な支援が必要な学生への配慮に関する講演会②・・・全教職員参加  
平成29年3月6日(月) 15:15～16:45  
題目: 思春期の精神疾患のある生徒の理解と対応 ―発達障がいを中心に―  
講師: 未来の風せいわ病院 理事長 智田 文徳 先生
- ・ 教育課程・授業方法について研究会・・・全教員参加  
平成28年12月5日(水) 15:00～17:00  
内容: (1)webシラバスについて  
(2)ルーブリックについて  
(3)専門教科と一般教科の意見交換  
担当: 片方教務主事補
- ・ 教員相互の授業参観(研究授業)・・・5名が実施し, 13名が見学した。  
平成28年6月13日(月)～6月30日(木)  
アクティブ・ラーニングを取り入れた授業の参観  
離散数学・基礎数学ⅠA・化学Ⅱ・総合英語ⅠA・力学・微分積分Ⅱ
- ・ 教員相互の授業参観・・・見学者延べ数25名  
平成28年7月11日(月)～7月22日(金)
- ・ 新任教員のための研修会・・・新採用教員2名  
平成28年4月3日 14:00～16:30  
校長: 講話, 教務主事: 教科指導について, 学生主事: 学生指導について, 寮務主事: 寮の業務について

d 実施結果を踏まえた授業改善への取組状況

各教員による授業改善への取組結果については, 年2回実施している授業アンケートにおける学生の回答に対する教員からのコメントの形で報告することとしている。

③ 学生に対する授業評価アンケートの実施状況

a 実施の有無及び実施時期

年2回実施(前期期末:前期科目, 後期期末:後期科目・通年科目)

b 教員や学生への公開状況, 方法等

実施結果は各教員に通知される。また, 共有すべき学生のコメントは, 学内WEBにて教員間で共有される。学生の回答内容に対する各教員のコメントは学内WEBにて公開する。

(注)・「①a 委員会の設置状況」には, 関係規程等を転載又は添付すること。

「②実施状況」には, 実施されている取組を全て記載すること。(記入例参照)

### (3) 自己点検・評価等に関する事項

#### ① 設置の趣旨・目的の達成状況に関する総括評価・所見

本校が行う点検及び評価は点検評価規則による。年1回、定期的を実施する点検として運営諮問会議を開催し、外部より提言を受け、学校運営の改善活動に資している。

#### ② 自己点検・評価報告書

##### a 公表（予定）時期

- ・平成32年5月1日 公表（予定）

##### b 公表方法

- ・本校ホームページ上に公開予定（平成32年5月1日を予定）

#### ③ 認証評価を受ける計画

- ・平成31年度に機関別認証評価を受けるべく、学内で検討中

(注) ・ 設置時の計画の変更（又は未実施）の有無に関わらず記入してください。

また、「① 設置の趣旨・目的の達成状況に関する総括評価・所見」については、できるだけ具体的な根拠を含めて記入してください。

なお、「② 自己点検・評価報告書」については、当該調査対象の組織に関する評価内容を含む報告書について記入してください。

### (4) 情報公表に関する事項

#### ○ 設置計画履行状況報告書

##### a ホームページに公表の有無

(  有 ・  無 )

##### b 公表時期（未公表の場合は予定時期）

( 平成29年 7月 1日以降 )